

歴史都市防災計画研究部会

部会代表者：理工学部・准教授 小川 圭一

研究メンバー：青柳 憲昌、大窪 健之、鈴木 祥之、武田 史朗、塚口 博司、
豊田 祐輔、林 倫子

【研究計画の概要】

文化遺産を核とした周辺地域の防災環境を整備するための文化遺産防災計画の策定を行う。計画実施に必要な要件や評価手法を確立し、文化遺産を守り活用する歴史防災まちづくりを実現するための研究を推進する。

(1) 歴史防災まちづくり計画策定調査

文化遺産の地域防災拠点化促進に向けた、地域コミュニティとそこに位置する文化遺産管理者間の助け合い(自助・共助)に必要な要件や手法を同定する。

具体的には、神戸市北野山本通と篠山市福住地区の歴史防災まちづくり計画のための調査および計画案の策定を目指す。今年度は現地調査をおこない、住民ワークショップにより方針の抽出をおこなう。

(2) 歴史都市防災政策の評価研究

歴史都市の減災のための政策策定およびその有効性評価手法の確立、行政や文化遺産管理者による文化遺産防災の計画や実施の判断基準の提供をおこなう。

具体的には、与謝野町加悦地区の歴史防災まちづくり計画を評価し、事業化へ向けた政策の策定に資する。与謝野町加悦重要伝統的建造物群保存地区防災計画の策定として、火災、地震、地滑り洪水などのハザードに対して防災計画の実施プランを作成する。

(3) 歴史都市防災交通計画

歴史都市・観光都市における災害時の緊急車両や観光客の誘導など、交通ネットワークの課題の抽出と解決策の検討をおこなう。

具体的には、京都市中心部を対象として、災害時の交通需要の推計をおこない、道路ネットワークの寸断による交通麻痺に陥らないようにするための交通マネジメント方法の検討や、災害時に多数の観光客を安全に避難させるための避難誘導方法の検討をおこなう。

【研究成果】

I. 研究成果の概要

研究計画の通り、「歴史防災まちづくり計画策定調査」、「歴史都市防災政策の評価研究」、「歴史都市防災交通計画」の3件の研究課題について取り組んだ。

Ⅱ. 研究成果の詳細

(1) 歴史防災まちづくり計画策定調査

神戸市北野山本通と篠山市福住地区の歴史防災まちづくり計画のための調査および計画案の策定を目指す。今年度は町並み保全のための建築基準法緩和に伴い、災害リスクを増大させないための代替措置について検討をおこない、行政および住民からの評価をもとに提案をおこなった。研究成果は以下に投稿予定である。

- 塩田一貴、大窪健之、金度源、林倫子:歴史的町並み保存のための建築規制緩和に対する災害対策の研究 ―神戸市北野町山本通重伝建地区を対象として―、歴史都市防災論文集、Vol.8(投稿予定)

(2) 歴史都市防災政策の評価研究

与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区の調査研究のもとに平成23年度に策定した防災計画に基づき、以下の重点課題の実施プランニングを検討した。

- 1) 伝統構法建築物の耐震改修:伝建地区内の建築物の劣化部材等の調査、構造詳細調査のもとに耐震補強をおこなうための基本的なマニュアルについて検討した。
- 2) 地区の建築物群の火災対策:天神山頂上の貯水槽を高度差による放水システムに転用するために、貯水槽および周辺地盤を調査した。今後、詳細な地盤調査を実施する。

(3) 歴史都市防災交通計画

京都市中心部を対象として道路ネットワークの脆弱性の把握をおこない、災害時に孤立する可能性の高い地域の検討をおこなった。また、京都市東山区を対象として、主要な観光スポットからの避難経路の交通容量に関する検討をおこなった。詳細は以下の論文に掲載している。

- 小川圭一、南和憲、前川貴哉、塚口博司、安隆浩:避難時の交通容量を考慮した歴史都市における観光客の避難経路に関する検討、歴史都市防災論文集 Vol.7、pp.7-14、2013.7.
- 安隆浩、塚口博司、久下紗緒里、小川圭一:歴史都市における減災計画のための道路ネットワークの脆弱性把握方法に関する研究、歴史都市防災論文集 Vol.7、pp.215-222、2013.7.

Ⅲ. 今後の研究計画・展開

引き続き、上記3件の研究課題について継続的に取り組む予定である。